

十倉防災マップ

災害用伝言ダイヤル

大災害発生時は電話利用が殺到し、電話が繋がりにくい状況になることがあります。このような場合は、「災害時伝言ダイヤル」が開通され、被災地やその他の地域の人々との間で伝言の録音・再生をすることができます。

- 伝言を登録する**
 [171]にダイヤル ▶ [1] ▶ (市外局番) 000-0000
- 伝言を聞く**
 [171]にダイヤル ▶ [2] ▶ (市外局番) 000-0000

※各携帯電話会社の災害用伝言板もあります。

緊急連絡先

三田市災害対策本部(市役所)
TEL 563-1111

消防署(火災・救急)
TEL 119

我が家の緊急避難場所

我が家の避難のタイミング

緊急連絡先

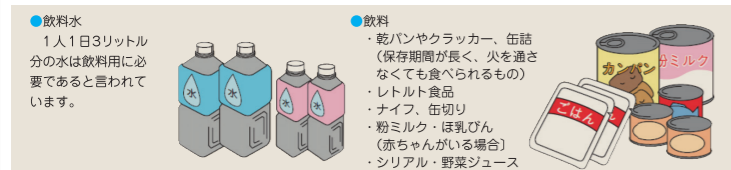
| 連絡先 | 電話番号 |
|-----|------|
| | |
| | |
| | |
| | |

非常持ち出し品(避難する時に持ち出すもの)

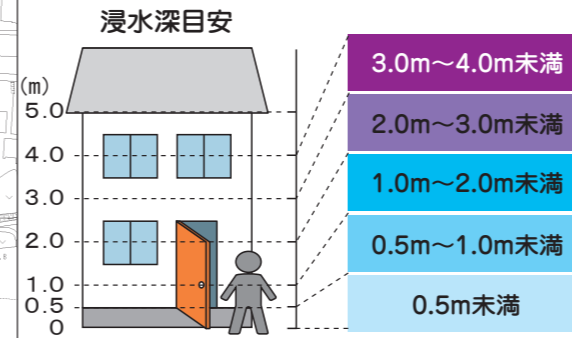


備蓄品(避難生活に備えて家などに蓄えておくもの)

3日以上の備蓄は必要!



浸水深の色の見方



土砂災害

- 土砂災害警戒区域(土石流)
- 土砂災害警戒区域(急傾斜地)
- 土砂災害警戒区域(地滑り)
- 山腹崩壊危険地区
- 土砂災害特別警戒区域

【凡例】

- 消 消火器
- 消 消火栓
- 防火水槽
- 防災倉庫
- AED 設置施設
- 車両通行不可
- 危険箇所
- 水道
- 避難経路

土砂災害特別警戒区域指定図書(平成29年3月15日現在)に基づき記載しています。

落ちついて火の元確認 初期消火

- 火を使っている時は、揺れがおさまってから、あわてず火の始末をする。
- 出火した時は、落ちついて消火する。

あわてぬ行動 けがのもと

- 室内で転倒・落下した家具類やガラスの破片などに注意する。
- 窓ガラス、看板などが落ちてくるので外に飛び出さない。

随分おちおち わが家の安全を確認

- わが家の安全を確認後、近隣の安全を確認する。

避難の前は 安全確認 電気・ガス

- 避難が必要な時は、ブレーカーを切り、ガスの元栓を締めて避難する。

こんなときは赤信号 土砂災害の前ぶれ

大雨のときは土砂災害の危険性も高まります。次のような状態に気づいたら、すみやかに避難しましょう。また、市役所に通報してください。(TEL:563-1111)

がけに亀裂が入る。がけから小石が落ちてくる。

川が濁ったり、流木がまざり始める。

雨が降り続いているのに、川の水位が下がる。

斜面から水が湧き出る。がけからでる水が増える。

斜面にひび割れができる。

土溜りの音が聞こえてくる。

避難の方法

避難所へ避難する場合

- 車は使わず、歩いて避難しましょう。
- 川沿いや橋、がけの下などは危険です。近くを通らないでください。
- 動きやすい服装で、二人以上で避難しましょう。
- 外に出る前に火の始末、戸締りを忘れず、電気のブレーカーも落としましょう。

屋内で避難する場合

●水害の場合

周りで浸水が始まった時は近くの高所や建物の2階以上に避難しましょう。

ポイント
夜間、浸水が始まった時の避難は、足元が見えず危険

●土砂災害の場合

家の中で2階のがけ、山から離れた部屋に避難する、または寝室とする。

ポイント
土砂災害の犠牲者の多くは1階で被災

平成21年台風9号の際に激しい降雨と浸水の中での避難中の被災事例から、状況に応じて、小・中学校等の避難所への避難だけでなく、屋内での垂直避難も有効であります。

